

月刊！大阪でんきレター

仕事に少し関係のあることから、まったく関係のないことまであなたにお届けします

今月のトピックス

- ◆社長のひとり言
- ◆今月の「おさめし」
- ◆伝え方ラボ通信/第2回
- ◆危険な方に賭けてみる
- ◆「2022年の私のチャレンジ」



社長のひとり言



最近スキー場へ行きましたか？

ここ何年か子供達とスキー場へ行っています。富山で生まれ育ち、冬はウィンタースポーツであるスキーをすることは当たり前だと思っていました。

しかし、今スキー場では、私が子供だった頃のそれとは見る景色が大きく異なっています。動かなくなったりフトやゴンドラ。かつては賑わいを見せていたであろうペンション。リフト乗り場では待ち時間を気にする必要がある。つまりお客さんが少ないのです。

それもそのはず、スキー・スノーボード人口は1998年のピーク時に1800万人を記録して以来、2020年はなんと430万人まで減少。ピーク時の4分の1です。1シーズンの平均参加回数も6回から4回へと減少しています。

ここ10年間は、インバウンド・スキーヤーの取り込みで何とかやってきましたが、コロナによるインバウンド消滅により、若年層のスキー離れが着実に進んでいることが露呈しました。今後は、参加率の高かった10〜40代の人口そのものが減少することで、市場規模が縮小することも確実です。

お金・時間・体力がかかるレジャーはやはり人気がなくなるのか？ 自分の子供や、孫の世代に、はたしてスキー場は残っているのか？

ギリギリになるまで危機感を持てなかった地方や、観光業界全般にも問題はあったように感じます。私も知らなかったのですが、世界的に見ても、日本のスキーリゾートは空港や都市からのアクセスがよく、また雪質も高く、伝統的な温泉や食文化施設も充実していて潜在能力は高いのです。

レジャー消費に参加しているとは言えないのかもしれませんが、私はスキー場へ行く途中の魅力的な神社に寄ったり、温浴施設などを利用したりして、そこにしかない魅力を発見しています。そして、また行きたいという気持ちになります。スキーをしなくても結構楽しめたりしますよ。皆様も久しぶりにスキー場を訪れてみてはどうでしょうか？遅くなりましたが、本年も最良の程宜しくお願い致します。



としろう
山本 利太郎

今月の「おさめし」

いつもお読み頂きましてありがとうございます。

今月からこのコーナーは、大阪でんきのU-30の5名で盛り上げていきたいと思ひます。

今回の担当は山本桜、改めまして古村桜です！私事ではありますが、昨年入籍致しました。まだまだ未熟者ではありますが、今後とも宜しくお願い致します。

1月号からは、“大阪でんきのサラメシ”コーナー略して「おさめし」と題しまして、富山、高岡、金沢の皆さんに交代で日頃のランチを紹介してもらいたと思います！お弁当の



ふるむら さくら
古村 桜

今日の「おさめし」（つづき）

方にも、外でのランチを楽しみにしている方にも、今日のランチ、明日のランチに迷える方がいらっしゃいましたら、ぜひ参考にして頂き、ご活用下さいね。

今回は富山事業部長の吉井さんより紹介頂きました。私、古村も時々、邦さんでランチします。私のおすすめは「本日の焼き魚定食」！以前食べたカマスの塩焼きはふかふかでとてもおいしかったです。弊社、浅生が頼んでいたブリカマの塩焼きも美味しそうでしたが！！

皆さんのおすすめランチもぜひ食いしん坊、古村までご教示ください。来月もお楽しみにー。



富山事業部から徒歩3分圏内の場所にあり、メニューも豊富で良く足を運びます。

昼時は近くの会社さんから、現場から、多くのお客様でにぎわうお店です。

10年以上利用させていただいております。提供も早く、おいしいので近くにあって嬉しいお店です。

【食事処 邦】

富山市新庄本町1丁目2-53

おすすめは「本日の日替わり定食¥850」



吉井俊邦

伝え方ラボ通信/第2回

■ あなたを悩ませていたのは、「コミュニケーションギャップ」だった！？ ■

現代の社会人の多くは「人間関係の問題」に苦しんでいるという話を、前回しました。今回は、もう一步踏み込んで、「人間関係の問題」を引き起こす要因を、説明したいと思います。

さて、「人間関係の問題」は、ひとえに「コミュニケーションの問題」と言って、恐らく差支えはないでしょう。



認識や価値観の「ずれ」から生じる情報の食い違いを【コミュニケーションギャップ】と呼びます。

例えば、「自分の意図が相手に伝わらない」とか、「誤解を受けてしまう」といった経験は誰しもあると思います。

職場における人間関係にストレスをもたらしていたのは実は、こうしたコミュニケーションギャップの「積み重ね」だったのです。

逆に言えば「コミュニケーションギャップ」を解消できれば、人間関係は改善し、それがもたらすストレスを軽減できるのです。

■ たった4タイプだから使いやすい！ ■

そこでご紹介したいのが、当社も採用しているコミュニケーション・メソッド【伝え方ラボ】です。【伝え方ラボ】は人の行為や言動を、わずか4つの性格タイプで説明する優れた思考方法です。

今回ははいよいよ【伝え方ラボ】の概要をご説明します。



うえの だいすけ
上野 大輔

危険な方に賭けてみる

YOASOBI（ヨアソビ）好きを公言している私ですが、最近二人組だということを知って若干ショックを受けております、どうも金沢支店の原です。

今回ご紹介する本は、(株)divの代表取締役社長でビジネス系ユーザーのマコなり社長の人生を変えたと言われている本です。かなり前から読もう読もうと思っていた本ですが、長いあいだ手を出さずにいましたが、先日、ブックオフをブラついていたら、この赤い本が目飛び込んできて、手に取ることとなりました。

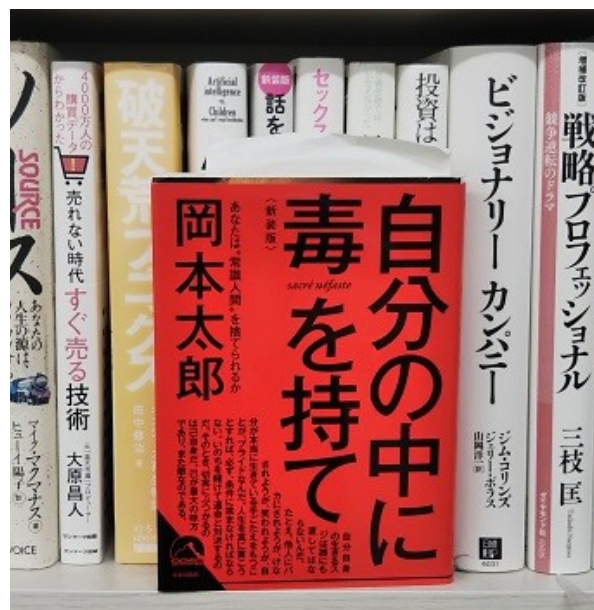
本を読んでいる間に太郎が私に何度も言うんです、「危険な方に賭けろ」と。そこで思い立ったのが、「預貯金を一切しない」という2020年の私のチャレンジです。

今から約30年まえに刊行された本ですが、今だからこそ読むべき本じゃないかと思えます。そう思わせるのは、やはり人間の本質というのはおそらく変わっていないからではないでしょうか。

もし今後何かの選択を迫られた時、あえて「自分にとってマイナスだな、危険だな」と思う方を選んでみたらいかがでしょうか？新しい人生が見えてくるかもしれません。



原 良



「自分の中に毒を持て」

著者：岡本太郎

駄目になる方、マイナスの方の道を選ぼう、と決意してみるといい。そうすれば必ず自分自身がワーツともり上がってくるにちがいない。それが生きるパッションなんだ。(P62)

「2022年の私のチャレンジ」



にし の とみひろ
西野 智博

感謝！！沢山の皆さまの支えがあってこそ。その心を何時も忘れずにいたい



たに い ひとし
谷井 仁史

今年は前厄年の為、去年に引き続き健康第一で元気よく一年を過ごしたいと思います。



まつうら しんいち
松浦 信一

休肝日をつくる。週1いや、月1いや、3ヶ月に1回ペースで



たいら きよたか
平等 清敬

去年は1ヵ月に1冊本を読む！でしたが、未達成でしたので、3ヵ月に1冊本を読む！に修正しました！教養を深めたいと思います！



たかだ てつお
高田 哲生

曲を作りたいと思います。楽器は全て自分で演奏した後、ミキシングしたいです。曲調は当然『ブルックメタル』！！



うちやま こうへい
内山 康平

今年のチャレンジは健康第一で過ごすことです。世の中大変な状況ですが、対策等しっかりして健康に過ごしたいと思っています。



こばやし しんや
小林 真也

2022年の私のチャレンジはダイエットです。



たかしま こうせい
高島 光生

2022年の目標はピアノで1曲弾けるようになるです。ピアノ完全初心者ですが1年間でどこまで弾けるようになるのかチャレンジしてみます！オススメの曲などあれば教えてください。

大阪電機商事(株)富山事業部

富山県富山市新庄本町1丁目5番34号

TEL: 076-451-5581 FAX: 076-451-2320

nishino@osakadenki.co.jp

(西野 智博)

